

取扱注意点

Handling precautions

製品のお取扱いの前に必ずご確認ください。
Please read the instructions before using our product.



静電気によるLEDの破損を防ぐため、静電気防止対策をとって作業を行ってください。
To prevent damage to the LED by static electricity, please do take measures to prevent electrostatic discharge.

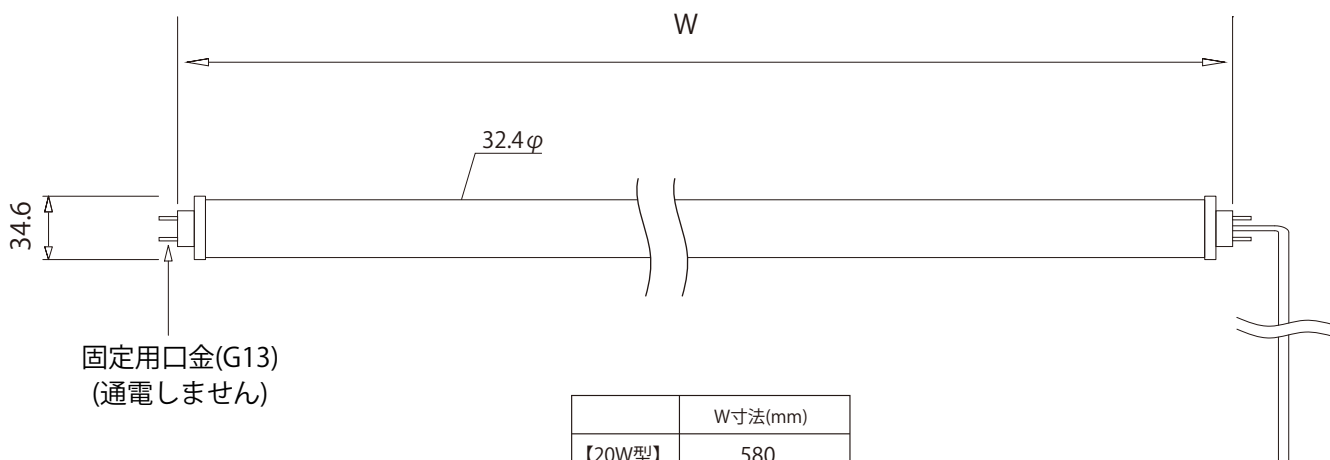
LED製品 施工時 点検項目

✓ 施工の前に必ず以下の項目点検を行ってください。
点検を実施することにより、不点灯を防ぎ、LEDの寿命を正常に保つことができます。

チェック	点検内容	発生する不具合
<input type="checkbox"/>	1次側電圧（電源器の入力電圧）は適正な電圧か？	DC12V：スイッチング電源にストレスがかかり故障する。 AC100V：LED製品が点滅する。不点灯。
<input type="checkbox"/>	電源器からの出力2次側電圧は適正な電圧が出力されているか？ （適正電圧は仕様書参照）	DC12V：LED製品にストレスがかかり、過電流・過電圧により不点灯などの故障を起こすこと。
<input type="checkbox"/>	スイッチング電源に対して、LEDは適正な電気容量になっているか？ （電気容量の70%程度）	スイッチング電源の故障、寿命の低下。 LED製品が不点灯などの故障を起こす。
<input type="checkbox"/>	LEDモジュールの直列最大連結数を守っているか？ （最大連結数は仕様書参照）	DC12V：過電流による不点灯、故障。 AC100V：不点灯、故障。
<input type="checkbox"/>	電源のアースはしっかりとっているか？	（雷サージ等で）電源の故障や漏電による電源の寿命低下。
<input type="checkbox"/>	電源器とLEDの接続部分はしっかりと防水処理ができていますか？	スイッチング電源やLED製品内部へ水が侵入すると不点灯、漏電、故障を起こす。
<input type="checkbox"/>	電線は電流量に合う適正なサイズ（太さ）で配線されているか？	製品の寿命低下、破損、感電、発火などの現象を起こす。
<input type="checkbox"/>	浸水の可能性がある所、直射日光が当たるような所、熱がこもるような所にLED製品や電源器を設置してないか？	早期劣化・故障。
<input type="checkbox"/>	漏電箇所はないか？	漏電によるLED製品・電源への不具合を起こす。

memo:購入日などをメモしておいてください。

看板用LED蛍光灯 仕様書



	W寸法(mm)
【20W型】	580
【30W型】	630
【32W型】	830
【40W型】	1198

型番	FLN20W-11W	FLN30W-12W	FLN32W-16W	FLN40W-22W
消費電力	11W	12W	16W	22W
入力電圧	AC100 - 240V	AC100 - 240V	AC100 - 240V	AC100 - 240V
消費効率	≥0.9	≥0.9	≥0.9	≥0.9
電源効率	90%	90%	90%	90%
全光束	1490lm	1630lm	2250lm	3110lm
演色性	Ra80	Ra80	Ra80	Ra80
色温度	6,000K/3000K	6,000K/3000K	6,000K/3000K	6,000K/3000K
照射角	360°	360°	360°	360°
周波数	50Hz/60Hz	50Hz/60Hz	50Hz/60Hz	50Hz/60Hz
IP等級	IP66	IP66	IP66	IP66
口金	G13 (通電しません)	G13 (通電しません)	G13 (通電しません)	G13 (通電しません)
使用環境温度	-20℃~60℃	-20℃~60℃	-20℃~60℃	-20℃~60℃
使用環境湿度	20%~90%	20%~90%	20%~90%	20%~90%
定格寿命	40000時間	40000時間	40000時間	40000時間

製品保証に関する注意事項

本製品の保証期間は弊社出荷日より3年間です。

- ① 1日の点灯(作動) 基準時間は15時間未満です。それ以上使用された場合の保証期間は、上記の半分の期間とします。
- ② 1日20時間以上、24時間連続使用等の長時間連続使用を行われた場合、保証対象外とさせていただきます。

*弊社が行う保証は、正しい施工・使用を行ったにもかかわらず不良が認められた製品の交換のみとさせていただきます。
取替えにより発生する工事費用等の二次的発生費用はいかなる場合も保証致しかねます。

看板用LED蛍光灯 取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください

ご使用になる方やほかの方々への危害や損害を防ぐために、必ず守ってください。

以下の注意事項に反する使い方をしますと破損、感電、発火の恐れがあります。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。



禁止

施工は、本書に従い確実に行って下さい。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

LEDに通電したままの結線や切断はしないでください。故障や感電の原因になります。

本製品は医療機器に影響を及ぼす可能性があるため、病院内でのご使用はご遠慮ください。

質量や風圧などの荷重に耐えられるように確実に取付けてください。

また、器具を布や紙など燃えやすいもので、覆ったり、被せたり、近づけたりしないでください。

火災・感電および器具落下の原因になります。

本灯具は、次のような環境でご使用にならないでください。

- ・高温になる場所
- ・浴室などの湿度の高い場所
- ・粉塵が多い場所
- ・腐食性ガスが発生する場所
- ・可燃材に触れる場所
- ・海水や有機溶剤に直接さらされる場所
- ・電界や磁界の影響を受ける場所
- ・激しい震動や衝撃の加わる場所
- ・常時震動のある場所

製品に次のような行為は行わないで下さい。

- ・分解や改造をする
- ・リード線を無理に引っ張ったりねじったりする
- ・落下させたり激しい振動や強い衝撃を与える
- ・リード線に傷をつける
- ・損傷したコードを使用する



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 電源の接続は「電気技師の免許」が必要です。
- 供給される電源は、必ず適正な容量の漏電ブレーカーを使用してください。容量が適正でない場合、ブレーカーが作動せず発火の危険があります。
- リード線をカットした場合、結線箇所を圧着スリーブ、熱収縮チューブ等で絶縁、防水処理をしてください。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障・破損・感電・火災の原因になります。
- 濡れた手で触らないやけどや感電・故障の原因になります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

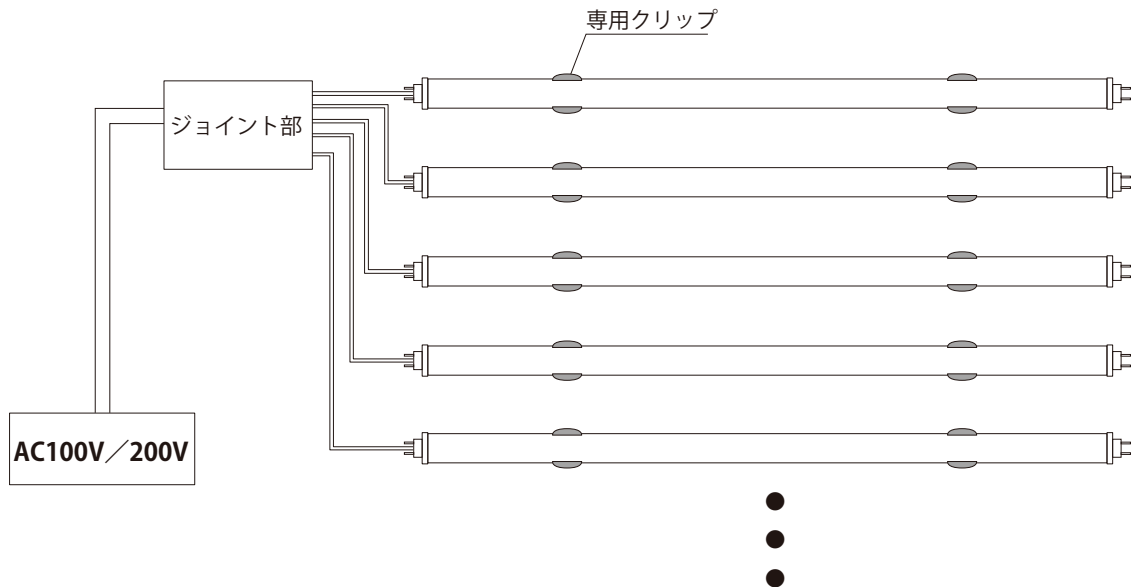
- 製品は仕様書・取扱説明書や本体表示などの注意事項をあらかじめよくご確認・ご理解の上で、正しくご施工・ご使用ください。
- 製品は許容された温湿度環境範囲内、あるいは筐体温度上限以下でお使いください。また、製品周囲は断熱材などで覆わないでください。
- 点灯中及び消灯直後の製品は高温になっていますので、手を触れないでください。また、メンテナンス等の時は必ず電源を切ってから行ってください。故障や事故などの原因となります。
- 製品に万一、動作・点灯状態や外観の異常や煙や異臭の発生などが見られた場合には、すぐに使用を中止して、工事業者または販売元に交換または修理を依頼してください。

使用上の注意

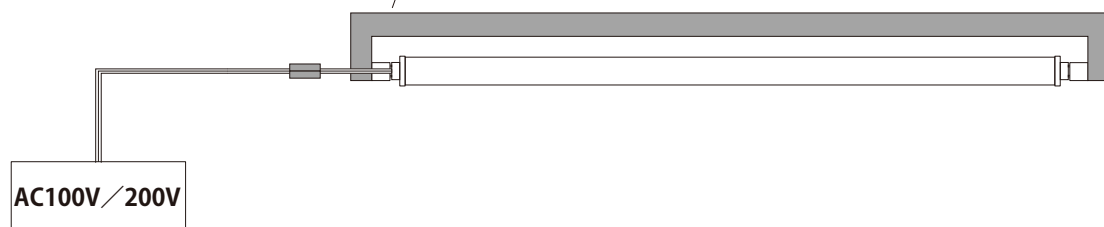
- LED素子にバラツキがあるため、同一品名の商品でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 本製品のLEDの設計寿命は40,000時間です。設計寿命は製品の寿命を保証するものではありません。
- 照明器具、および関連部品（直流電源装置、ランプ、モジュール含む）には寿命があります。
- 部品や回路は劣化します。設置して8年から10年経つ場合は交換してください。
- LED光源は経年劣化により徐々に暗くなります。暗くなったら交換してください。
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

本灯具を新規に施工する場合

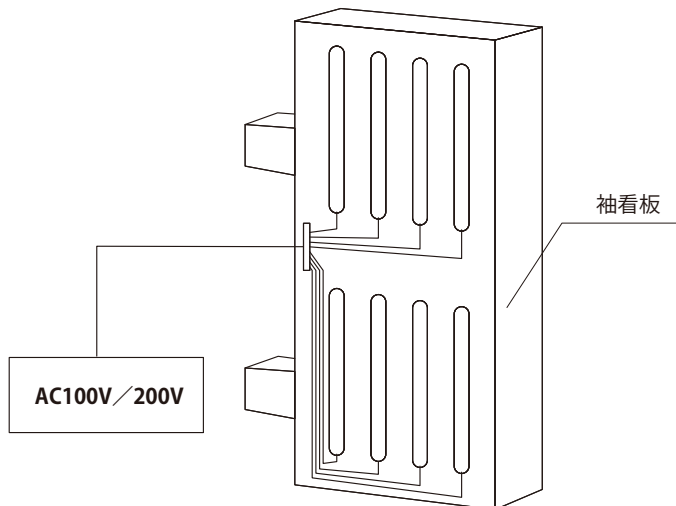
- 専用クリップを使用して本灯具を固定します（1本のLED蛍光灯につき2カ所以上を固定します）。
- 1次側電源線の選定は全灯具の容量に合った線径をご使用ください
- 看板等への組み込み終了後、点灯確認作業を必ず行ってください。
- 既存の照明器具に本製品を取り付ける場合は、照明器具やソケットが劣化していないか必ず確認してください。劣化により本製品が落下する恐れがあります。取付器具が劣化していた場合は、取付器具を付け替えてください。
- 既存の蛍光灯を交換して使用する場合、既存ホルダー内の配線・安定器はそのまま、LED蛍光灯の電線を使用します。



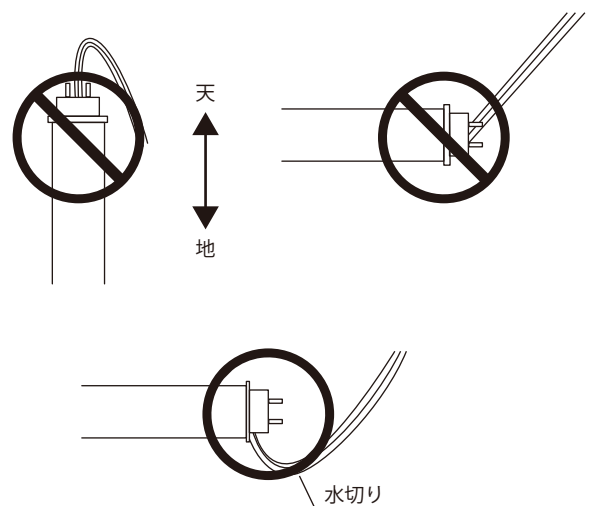
既存ホルダーをそのまま使用することも可能です



取り付けイメージ



- 縦に設置する際は、線が出ている方を下に設置してください。また、配線の根元に負荷がかからない様に施工してください。



- 屋外で使うときは、結線部と端線部をすべて防水処理してください。